



花王

須賀川市立第三小学校
学校だより NO. 19
令和6年12月23日
発行者：校長 熊田順一郎

教育目標 ◇心身ともに健康で豊かな情操と創造性に富み、たくましい実践力のある児童の育成

82日間の2学期が終了

保護者、地域の皆様の御協力に心から感謝申し上げます

昨日の降雪、そして氷点下の朝に本格的な冬の訪れを感じます。早いもので本日、長かった第2学期の終業式を迎え、2学期82日間の教育活動を終了することができました。

この2学期は、JRC福島県指導者研修会・授業公開、見学学習、宿泊学習、持久走記録会、にここ集会など数々の行事や集会活動を実施して参りました。また、地区合奏祭、地区陸上交流大会等の対外行事にも参加して参りました。学期末にはインフルエンザの流行により学級閉鎖の措置を取った学級もあり、運営等に苦慮する活動等もありましたが、現在、予定していた学習活動はおおむね終了することができました。このような子どもの健やかな成長に欠かすことのできない教育活動を実施・参加できましたのも、保護者や地域の皆様をはじめ関係機関の皆様の御理解と御協力・御支援があったからこそです。心より感謝申し上げます。

今年もあと9日を残すところとなりました。学校でも今年1年間を振り返り、来年に向けてよりよい第三小学校になるよう反省をして、来年の教育活動に向けての改善を図っていきたいと考えています。来年も第三小学校の子どもたちの健やかな成長のために、教職員一同、精いっぱい取り組んで参りますので、なお一層の御支援と御協力をお願いいたします。

来る新年が皆様にとって輝かしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、1年の締めくくりの御挨拶とさせていただきます。どうぞよいお年をお迎えください。

第3回須賀川市立第三中学校区小・中一貫教育全体会

12月18日（水）に今年度第3回目の小・中一貫教育全体会を実施し、須三小、須三中の先生方が「学習指導」「生活指導」「健康指導」「特別支援教育」の4つの部会に別れて、協議を行いました。

それぞれの部会では4月と7月に実施した全体会の協議内容を踏まえ、小・中両校から現在までの実施状況、実施しての成果・課題等が出され、三小・三中の児童生徒の豊かな資質と可能性を伸ばさせるために、3学期、そして次年度に向けた具体的な活動や指導・支援のあり方について協議しました。今後も小中9年間の学びの連続性を意識しながら子どもたちの指導に努めてまいります。

冬休みの過ごし方

お子さんに、家族の一員としての役割を与えて、実践させてください。そのことにより、次の効果が期待できます。

- ① 家族の一員としての自覚
- ② 責任と実行の大切さ
- ③ みんなの役に立てる喜び

自分がしたことにより家族から感謝される経験を通して、達成感や満足感を味わいながら成長していきます。言葉で言って聞かせるより、「させてみてほめて伸ばす」方が何倍も効果があるものです。

学習面では、各学年から出された課題を確実に行うことが大切です。2学期までの学習内容をしっかり復習して、3学期に備えてほしいと思います。

始業式には、子どもたちが新たな目標を持って元気に登校することを願っております。